

つながりコーナー

お問合せは、中津市ボランティア・市民活動センターまで♪
☎23-2095 島元・木内・越原

ありがとうございます！

ぺんぎん7月号で絵本やTシャツの寄付をお願いしたところ、たくさんのご協力をいただきました。ありがとうございます。

ボランティアグループ 絵点楽



絵点楽の中村さん

いただいた絵本で点字絵本を作って中津市内の図書館などの施設に置いており、九州各県の盲学校にもお送りして読んでいただいています。見かけたら、ぜひ手に取ってみてください。まだまだお手元に眠っている絵本を募集中。また、絵本タイプのシートン動物記を探しているそうです。

地域サロン百歳(ももとせ)

集まったTシャツを材料に布草履を作り、バザーで販売してサロンの運営資金にするそうです。まだ足りないので、引き続きTシャツを募集中。衣類の整理をしていて不要になった夏物のTシャツ(綿100%のもの)があれば、お願いします。カラフルなもの大歓迎です！



百歳(ももとせ)の橋本さん

お問合せは、中津市ボランティア・市民活動センター(23-2095)までお願いします♪

美味しくいただきました！

フードバンクnicoで集まった食材やお菓子の一部、市内にお住まいの方からいただいた野菜などをサロンや子ども食堂の皆さんのところにお持ちしました。食材は料理上手なスタッフの手で様々な料理に変身し、集まった皆さんは「美味しいね～」と笑顔で頬張っていました。

たくさんの寄付をいただき、ありがとうございました！



サロン つばめの家



子ども食堂 鶴居こいのぼり



地域サロン すずめの家



「ボラ募集！」「ボラしたい！」など、ボランティアに関するお問い合わせは、ボランティアセンターまで。お待ちしています♪

ボランティア・市民活動情報紙

ぺんぎん



No.250
2021年9月発行

え:よしだ みずほ

《発行》中津市ボランティア・市民活動センター(中津市教育福祉センター内)
〒871-0021 大分県中津市沖代町1-1-11 TEL 0979-23-2095 FAX 0979-24-7682
《ホームページ》<http://www.nakatsu-s.or.jp/> E-MAIL volunteer01@nakatsu-s.or.jp

できたてご飯で子育て応援！～もみじランチ～



主任児童委員さんと職員さんでランチを届けます。(写真は主任児童委員の矢野さん)

社会福祉法人下毛もみじ会「もみじ園」(耶馬溪町大字平田)のもみじランチが、夏休みにスタートしました。

「もみじランチ」はもみじ園が行っている社会貢献の一つで、小中学生のいる子育て世帯を応援するため、長期休暇中の子どもたちに無料でお昼ご飯を届ける活動です。

今年の春休み中に城井小学校の6年生に案内をし、モデル的に3回行った後、この夏、本格始動しました。

7月29日～8月19日までの期間で5回実施し、出来たての美味しいお昼ご飯41食を届けました。

もみじランチは、もみじ園が社会福祉法人として、地域に貢献できることは何かを模索していた中で生まれた取り組みです。園と城井小学校が近いことや職員の方自身、子どもたちの休暇中の食事作りの大変さを知っている経験を通じて「こんな取り組みがあったらいいな」という思いから生まれた活動でした。

そして、もみじ園のコミュニティソーシャルワーカー(CSW)瀬戸間さんが担当として、地元の主任児童委員の方々などへの協力依頼や、園内職員の皆さんでの役割分担などの準備を進め、実施となりました。

「子ども食堂」という活動も地域では広がってきていますが、いわゆる宅配型だからこそそのメリットもあります。配達に参加されているのが主任児童委員の方々ということもあり、「訪問の際に話ができる」「家族の顔を見て繋がることできる」「もし、困った時には気軽に相談できる関係になれば」とのつながりづくりになっています。今後は、少しずつ対象や地域の協力者の方が広がっていけば・・・という夢も持たれています。

子育てファミリー応援事業「もみじランチ」、次回は冬休みの予定です。



「こんにちは、もみじランチです♪」
気温が高い時季なので、衛生面には特に気を配っています。



もみじ園の平原園長(左)とCSW 瀬戸間さん(右)にお話を伺いました。



ご近所だからできること

～住民による生活支援/住民型有償サービス～



「住民型有償サービス」のことは知っていますか。

住民型有償サービスは地域住民同士による、生活の中の困りごとを支援する”支え合いの活動”で、無償ではお願いしにくい生活支援サービス(掃除、調理、買い物など)を有償で提供しています。

現在中津市で 10 団体が活動しており、スタッフ自身の特技やできることなどの内容で支援しています。

たくさんの地域の方がスタッフとして活動されていますが、7月から新たに住民型有償サービス「大幡まこもサービス」のスタッフになった大幡校区の黒豆(くろず)さんに、スタッフになったきっかけや実際に支援に携わって感じたことなどを聞いてみました。



きっかけは…?

先日、近所のAさんから、「高齢になり、買い物に行けなくて困っている」と聞きました。そこで大幡校区で活動している「まこもサービス」に支援してもらえないかと思い、問い合わせてみました。

マネージャー(相談調整役)が本人に聞き取りを行うためにAさん宅に来る日、自分も行って立ち会いました。二人が話しているのを聞いているうちに「これくらいなら自分にも手伝える」と思い、スタッフとなって支援したいと申し出ました。



黒豆さん



スタッフになってみて、どうですか？

実際にやってみて、生活に困りごとがある人は隣近所の人ちょっとした手伝いで生活しやすくなることができました。また、ご近所だからこそ自分も負担なく手伝いができます。

このように、住民型有償サービスの支援は、スタッフが無理なくできる内容です。近所の人同士だからできることも多く、「助けられたり、助けたり」という、地域の当たり前の暮らしを支える活動をしています。

きっかけは様々でも、「自分も何かやりたい」「誰かを支えたい」と思ったとき、ちょっとした一歩を踏み出すことで周りを元気づけ、笑顔をもたらせますね♪



「住民型有償サービス」についてのお問い合わせは…

中津市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎23-2095



この夏も感動をありがとう！ ～令和3年度 夏のボランティア体験～



今年度の夏のボランティア体験は 7/18～開始しましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため8月1日以降全て中止とさせていただきます。申し込んでいただいた 242 名中、実際に活動できたのは 56 名でした。突然中止になったことで、参加予定だった方や受入施設の方、関係者の皆様方にはたいへんご迷惑をかけ申し訳ありませんでした。

申込み時や事前のオリエンテーション時に、「ボランティアは初めてなんです。」「ドキドキします!」と笑顔で話してくれた皆さん。中止の連絡を入れるのが本当に心苦しかったですが、また次の機会にお会いできますように。

<7月中に体験した方の声を一部ご紹介します！>

- 最初はどう話しかけたらいいかわからなかったけど、時間が経つにつれ話ができるようになり、一緒に色々なことが出来て嬉しかったです。(高齢者施設)
- 訪問する前はとても緊張したし不安なこともたくさんあったが、初めて行ったところがこんな温かくて楽しいところでもよかった。とてもいい経験になりました。(高齢者施設)
- お昼寝の後、部屋に入ると「おはよ～う」と抱きついてきてくれたのがすごく可愛くて嬉しかったです。職員さんも質問にやさしく答えてくれて、とても楽しいボランティア体験となりました。(こども園)
- 先生方が一人一人の子どもと向き合う姿を見て、学ぶことがたくさんありました。今日の体験はしっかりと自分の進路に役立てていきたいです。(こども園)
- 子どもたちの笑顔に心を打たれ、やりがいを肌で感じてよい経験になりました。この経験が将来に繋がっていくように、頑張ります。(こども園)



支えてくれる皆さんにエールを！

あっとほむむぐれいす代表の川野陽子さん(三光在住)が、ガーデンヴィラおぐすに自作のクリアファイルの売上金5万円を寄付しました。このクリアファイルは疫病除け妖怪アマビエをモチーフにしたデザインを川野さん自らが手がけ、「支えてくれる医療福祉従事者の皆さんにエールを届けたい」という想いを込めて製作したものです。



川野陽子さんとファイル



川野さんは筋力が低下する病気を患っており、感染予防で外出を控えているため、寄付金は事務局の奥山さんが届け、贈呈式はリモートで行われました。ガーデンヴィラおぐす施設長の八田さんによると、いただいた寄付金は感染対策機器の購入に使いたいそうです。

いちばん大変なときに支えてくれるのは周りからの温かい言葉。まだまだコロナと向き合う毎日が続いていますが、普通の生活を取り戻すため自分にできることを一つ一つ積み重ね、大切な人を守れるようにしたいですね。(八田さん)

リモートで川野さんとやり取りする施設長の八田さん(左)と奥山さん。